

小野市議会だより

2020. 8
No.193

新しい
生活様式



アマビエ



外出控え

密集回避

密接回避



密閉回避

換気

咳エチケット

手洗い



新型コロナウイルスに怯えない安心安全な社会をめざして

新型コロナ協議会設置！

5月19日に市議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、安定した社会経済活動の維持、感染症と共生する新しい日常の定着を目指し、市民が安全で安心した生活を送れるよう適切かつ迅速な対応を図ることを目的とし、「新型コロナ協議会」を設置しました。

新型コロナ協議会

正 副 議 長

議会運営委員長

議会運営委員会

予算決算常任委員長

予算決算常任委員会

民生地域常任委員長

民生地域常任委員会

総務文教常任委員長

総務文教常任委員会

< 提言のとりまとめ >
< 調 査 ・ 研 究 >
< 迅速な議案審議 >

各委員会の連携と機能性向上のための調整を行う

- ・ 議員の体調確認
- ・ 感染症に係る情報収集・整理
- ・ 所管の常任委員会に調査研究を求める等

6月12日に新型コロナ関連の追加議案が上程され、その日のうちに常任委員会審査、採決をし、市民の皆さまにスピーディーに支援が行き渡るよう市議会も取り組みました。



5月29日に市議会は、「新型コロナウイルス感染症に関わる安心安全な生活を確保するための決議」を可決しました。

新体制の中で新型コロナ協議会を立ち上げ、緊急事態宣言が解かれた後、市民の皆さまが安心安全な生活を送れるよう5つの目標を掲げ、議会運営を展開していくことを決議いたしました。

新型コロナウイルス感染症に関わる安心安全な生活を確保するための決議

この度の新型コロナウイルス感染症は、国難として全国民が緊急事態宣言に応え、ようやくその規制が解かれた。今後は経済をはじめ、生活等の再建と再生が必要となり、各自治体は今迄以上に国・県と連携しながら各地域の特性に応じた対応をしていく必要がある。

正に基礎自治体の果たすべき役割が明確化し、また地方議会も同様にその機能を果たさなければならない。

そこで、我々小野市議会は市民の安心安全を確保するため、二代表制の元に行政機関との強固な連携と共に、情報共有と実効性を発揮し、新型コロナウイルス感染症から受けたあらゆる影響に対し、改善に向けて全力で取り組むことを再認識した。

第421回市議会臨時会（令和2年5月12日）で新たな議会構成が整い、前年度からの引継と緊急事態宣言が解かれた今だからこそ、中長期の検討に備え、既存委員会の連携を図るため、正副議長、各常任委員長、議会運営委員長で構成する「新型コロナ協議会」を設置し、議会体制を整え下記のとおり取り組むものである。

1. 持続可能な経済生活と、地域経済の活力を見出す。
2. 医療と福祉社会の充実を図り、感染症と共存しながら安全を確保する。
3. 教育を受ける権利を守り、現場環境を整え未来に繋ぐ。
4. 情報の発信と啓発の充実を図り、心豊かなまちを築く。
5. 総合的支援の確立を図っていく。

我が市議会に求められているのは、新型コロナウイルス感染症に怯えることなく、市民生活の安心感（幸福度）を追求していくことであり、市民の皆様の何気ない日常生活の確保、影響を受けた地域経済を元に戻し、ピンチをチャンスに変える市民力・地域力を支えることを責務として、市議会運営を展開していくことを決議する。

令和2年5月29日

小 野 市 議 会



③

コロナ禍でも交流を



6月1日初登校



北播磨総合医療センター正面玄関発熱問診



テイクアウト事業

②

『開かれた議会の推進』へ向けての取り組み

令和2年5月より議会は新体制となりました。新役員により、この一年間の議会の方向性、議会運営について協議し、今年度はこの3本の柱を軸として議会全体で取り組んでいくことを決定いたしました。各委員会においては、それぞれのテーマを決め、協議を行い、議論を深めているところです。

より深い議論ができるよう、トライ＆エラーを繰り返しながら、より一層市民に「開かれた議会」をめざします。

① 各常任委員会活動の充実

目的
これまで以上に所管事務調査の質の向上を図り、議会としてより深い議論を行うため

審査

常任委員会（総務文教・民生地域・予算決算）
議案に関わる当局と議員との質疑応答・討論



- ① これまでは当局から提出された議案について、各会派で討議し、その後常任委員会での質疑応答・審査に臨んでいました。今年度は、各会派はもちろん、議員間討議を活発に行い、議案について理解を深め、常任委員会を活性化させていただきます。
- ② 一年を通して各委員会でテーマを定め、調査・研究を行います。その過程において当局とも情報共有を行いながら、委員会で議論を深め、政策提言に繋げられるよう、課題の解決を進めます。

② 議員・議会活動の見える化

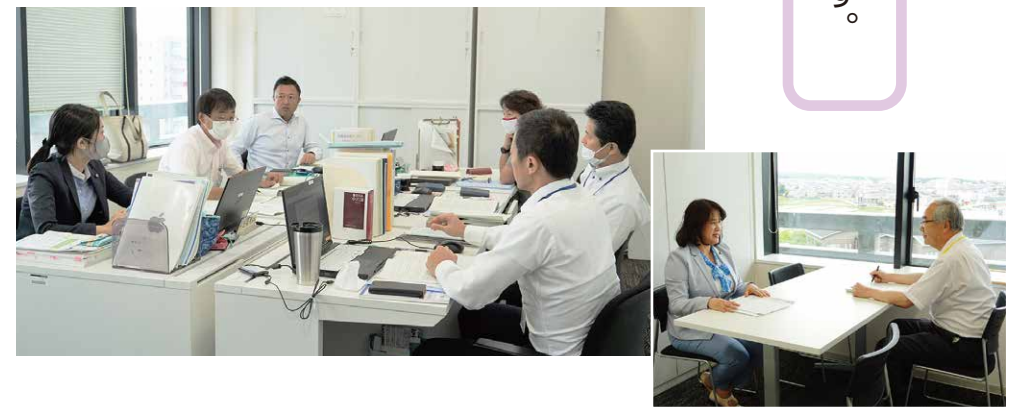
目的
市民の方の「議員は何をしているのか分からない」に応え、議員の活動や行動を市民の皆さまに分かりやすくするため

各議員の登庁状況を公開します。



議員の仕事は、議会や委員会への出席だけでなく、市民の皆さまのお声を拾うため、市役所外での活動も重要な仕事のひとつです。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めている現在、刻々と変化する状況に対応すべく、小野市においては独自の支援策や感染防止策が打ち出されています。そのような情報を収集するために登庁し、議員間で協議することも重要な責務であると考えています。



③ 議員の資質向上

目的
各議員の強み、弱みを洗い出し、小野市や市政についての理解をさらに深めるため

毎年2回行われる職員検定(25問)に取り組みます。



職員は毎年2回、職員一人ひとりが小野市の「広報マン」となるべくその知識を深めるため、小野市の施策等についての職員検定を受けられています。

各議員の市政に対する強み、弱みを洗い出し、議員としての資質を向上させるため、議員も職員検定に取り組み、基礎知識を確認し、市政全般について知識を深めるきっかけとします。

職員検定（例題）

- ①2020年度の市長方針は、“既成概念の脱却による「 」」である。
- ②4月1日にオープンした希望の丘陵上競技場の愛称は、「行くぜ！小野」の意味が込められた「 」である。
- ③小野市は、独自施策として県内で初めて「 」料金の半年間無料化を実施した。
- ④災害発生時に3密を避けるため、親戚や友人などの家や自治会の公民館などへ移動し、「 」避難をすることで、避難所での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことができる。
- ⑤「夏休みゼロ宣言」をベースとした学習機会の確保のため、市は期間中の「 」を無償化する。

第422回 定例会

会議期間29日間
(5月29日～6月26日)

市長提出議案…議案11件(補正予算2件・条例改正6件・その他3件)
委員会提出議案…決議案1件
計12件

(議案第45号・48号)

新型コロナウイルス対策に6億円追加

審議議案の中から PICK UP!!

生活支援

- ・ 離職を余儀なくされた市民、内定取消となった新社会人に最大10万円を支給
- ・ 就学援助(低所得者)世帯に児童生徒1人当たり3万円を支給

感染防止

- ・ 第2波に備えたマスク等の整備と避難所の3密対策
- ・ 救急活動における感染予防機器や資材等の備蓄整備
- ・ 保育所等への感染症防止対策費の補助

教育支援

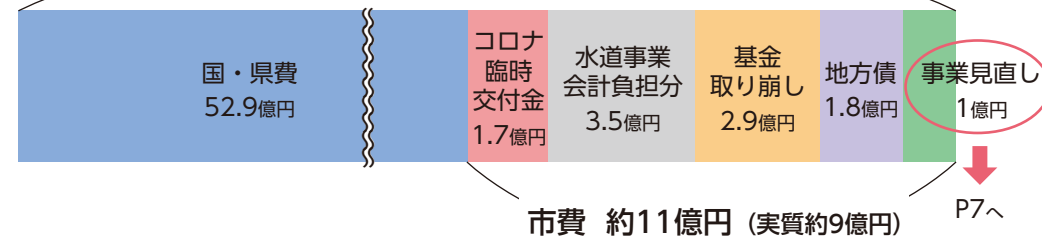
- ・ 「夏休みゼロ宣言」に伴う学校開校に応じた期間の給食費の無料
- ・ GIGAスクール構想の実現と通信環境の早期整備
- ・ スクールサポートスタッフ、学習指導員の配置

事業者支援

- ・ 売上が20～50%減少した中小企業へ最大20万円、個人事業者へ最大10万円の給付金を支給
- ・ 飲食店支援と生産者支援を兼ねた「日本酒おの恋」の普及促進

コロナ対策事業費 約64億円

5月補正分含む



(議案第42号)

コロナ禍による介護保険料減免

新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が一定程度下がった方に対して令和2年2月1日に遡って保険料の減免が可能となります。

(議案第46号)

新型コロナウイルス感染症対策基金の設立

寄附金は感染拡大の防止や地域医療体制の整備、市民生活の支援及び地域経済の回復に関する事業に活用されます。寄附は、ふるさと納税サイトから可能です。



約1億円削減し、新型コロナウイルス感染症対策へ

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業を見直し、約1億円を対策に充てる補正予算を可決しました。今後の事業のあり方については、議会としても引き続き協議してまいります。

小野まつり

5,900万円のうち **5,000万円** 削減



金婚夫婦を祝う集い

200万円 削減



小野ハーフマラソン

700万円 削減



その他

2,450万円 削減

事務用パソコン、車輛の購入の先送り 等

エイジ・ルネサンス・パーティ

500万円 削減



小野市短歌フォーラム

1,360万円のうち **340万円** 削減



議会調査研究費

570万円 削減

他府県への行政視察は中止し、研修参加費や研究用書籍の購入等についても今年度は個人で支払い、議会費は使わないことに決定。



提出議案と審議結果



★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第45号	令和2年度小野市一般会計補正予算（第3号）
	第48号	令和2年度小野市一般会計補正予算（第4号）
条例	第40号	小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
	第41号	小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第42号	小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
	第43号	小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
	第46号	小野市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について
	第47号	小野市職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
その他	第44号	小野市監査委員の選任について
	第49号	市立小野南中学校長寿命化改良工事請負契約について
	第50号	児童生徒学習用コンピュータ機器の取得について
	委員会提出 第1号	新型コロナウイルス感染症に関わる安心安全な生活を確保するための決議

学校給食について

質問 給食センターに関する予算の内容は。

答弁 通常、夏休みである期間も本年度は市内小・中・特別支援学校では授業を行い、学校給食を実施する。その期間（7月21日～8月26日）の給食費を無料にする。



GIGAスクール構想の今後の見通し

質問 GIGAスクール構想による市内小・中・特別支援学校的全児童・生徒・教員に対して、モバイル端末を購入することのだが、購入並びに実働の時期はいつになるか。

答弁 総購入数約4,600台のうち約1,000台を9月に購入。この台数分については来年初めよりオンライン授業が可能となる予定。残り約3,600台は令和3年3月頃購入予定。



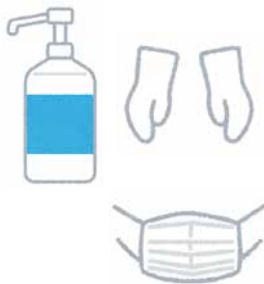
議案第45号

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算についての質問

避難所の備品について

質問 新型コロナウイルス感染症の危機が潜在する中で災害が発生した場合に備えて、備品の購入が計上されているが内容は。

答弁 避難所での3密を避けるために、指定避難所だけでなく地域の公民館等を活用した地域避難所の開設を想定しており、地域避難所を含めた備品の用意として、マスク・フェイスシールド・手袋・非接触体温計・消毒液・感染予防衣・段ボールベッド・ワンタッチパーテーションを、追加を含めて用意する。



エイジ・ルネサンス事業、金婚夫婦を祝う集いの今後は

質問 エイジ・ルネサンス事業、金婚夫婦を祝う集いは本年度は中止だが、来年度に2か年分の方をご招待したり、記念品だけでも配付するなどの対応はあるのか。

答弁 対象となる方々にお集まりいただき、同じ時を過ごしていただくことに主眼をおいた行事なので、記念品だけの配付は考えていない。来年度の開催方法については、今後、多くの方の意見を聞いて決定していく。

売上が減少した中小企業等への支援金について

質問 売上が20%以上50%未満減少した中小企業・個人経営者に対する支援金給付事業について、売上が50%以上減少した事業者に対しては国の持続化給付制度があり、制度の隙間を埋める事業だと理解するが、対象期間が国とは異なっている理由は。

答弁 政府の緊急事態宣言が出されていた期間に特に着目して実施する制度なので、4月と5月のみを対象とした。

離職者への給付金の対象者は

質問 離職者等生活支援給付金給付事業については、新型コロナウイルス感染症により離職された方を対象としているが、具体的な対象者は。

答弁 新型コロナウイルスの影響により、4月から6月までの間に、正規・非正規を問わず、事業所の都合により解雇された方及び内定を取り消された方が対象で、新型コロナウイルス感染症の影響による家庭事情の変更などにより自己都合で退職された方は含まない。

日本酒おの恋の普及支援事業の内容は

質問 日本酒おの恋の普及支援をどのようにするのか。

答弁 市内飲食店に日本酒おの恋を1,200本配布し、試飲用として提供していただくことで、日本酒おの恋の良さを一層PRし、消費を促進させ、外出自粛や営業時間短縮の影響を受けた飲食店及び酒蔵、山田錦の生産者を支援する。



ここが聞きたい 一般質問!!

喫緊の課題である新型コロナウイルス関連に限って、4人の議員が一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下にQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



岡嶋正昭議員（市民クラブ）



小野市のコロナ対策は？

答弁 他市に先駆け素早い取組で市民サービスを実施

質問 新型コロナウイルス対策に係る財政への影響について

答弁 コロナウイルス緊急対策支援策として、総額63億円の事業予算を計上、一般会計の予算総額は281億円と過去最大規模になり、小野市の負担は11億円、内訳は水道会計の3・5億円、一般会計が7・5億円で、国の臨時交付金を含めた財源を活用している。

歳入面では、71億円を見込んでいた市税収入は、景気の減速による影響が懸念され、市の歳入全体としては大幅な減少が避けられない状況となっている。

財政基金残高は、前年度の42億円から31億円に、また、基金全体においても77億円から70億円へと大幅に減少。しかしながら財政指標のガイドラインである70億円は確保できる見込みである。

今後、更に第2波、第3波の到来



コロナに負けるな！元気な子どもたち

■その他の質問事項

- ・新型コロナウイルス感染症に係る医療従事者等への支援について
- ・風評被害への対応及び対策について

久後淳司議員（紡ぐ未来）



3密を防ぐ避難所対策は？

- ①分散避難
- ②地域避難所
- ③学校の利用

質問 新型コロナウイルスによるクラスターのリスクや、第2波を出来る限り起こさないため3密（密閉・密集・密接）を避ける意識の継続が重要。万一、現状において大雨や地震等の自然災害が起きた場合、どのような対策や支援を考えているか。

答弁 1つ目は、市民に分散避難の理解促進を行う。防災マップでの情報把握、親戚宅などへの早めの避難、建物内での垂直避難など、広報誌や全戸回覧、安全安心メール等で周知を図る。2つ目は、公民館などの地域避難所の開設の推進。例年以上に地域避難所の開設を依頼し、感染防止マニュアルやマスク等の資材配布を行う。3つ目は、指定避難所を部屋数の多い学校を中心に開設する。



防災お守りくじ 抽選番号 332101 必ずチェック!!

質問 自粛要請に伴い高齢者の方々の在宅時間が長くなっている。介護予防の観点からも限られた状況の中でのフレイル予防の推進・啓発が必要と考えるが対策は。

答弁 「おの楽らく体操DVD」の販売と4週間の無料レンタルを新聞等で再周知した。また、川島隆太教授監修の脳トレテキスト（計算・音読・漢字）を希望者の自宅へ無料で送付した。

村本洋子議員（公明党）



夏休みの短縮・猛暑での換気は？

答弁 熱中症対策と感染症に係る密閉対策の両立

質問 冷房運転中の教室での換気は。

答弁 エアコンは連続運転を行い、授業時間の途中1回、休み時間に1回換気。特別教室等へのエアコン配備も進めている。

質問 教育現場の先生方の負担が大きくなるのでは。

答弁 県教育委員会と協議しながら、サポートスタッフ等の増員を検討。保護者、ボランティア、地域の方の一層のご協力のもと、夢と希望をかなえる教育を推進。

質問 猛暑の中での体育の授業やマスク着用の考えは。

答弁 児童生徒の健康状態の把握、環境条件に応じた運動と、こまめな水分補給、適度な休憩を取りながら行う。場合によっては取りやめることも想定。マスクを着用しない状態での感染リスク対策を講じ体育の授



久しぶりの登校

藤原 章議員（日本共産党）



QRコード



コロナ禍・全てのひとり親へ支援を

答弁 実情を掌握し、きめ細かい対応をする

質問 ひとり親・シングルマザーは厳しい状況だ。国の「ひとり親世帯給付金」や、市の「就学援助世帯特別支援金」は良い対策だが、所得制限で支援から漏れる世帯がある。ひとり親は全世帯に給付すればどうか。

答弁 国の10万円の給付金や1万円の子育て特別給付金が、ひとり親全世帯に対する一定の経済的支援になっている。

答弁 現時点では厳しいとの要望はない。緊急かつ深刻な状況は無いが、状況をよく見て対応する。（市長）

障がい者に対する支援について

質問 障がい者や障がい福祉施設に対する支援を尋ねる。

答弁 マスクや消毒液などの配布、放課後デイサービス利用者負担の補

助拡大、福祉サービス利用促進などを行ってきた。（市当局）

就労継続支援事業所への支援を

質問 就労継続支援事業所は仕事が減ったり、作業ができないなど困難があると思う。事業所の状況と支援策を尋ねる。

答弁 市内の就労継続支援事業所は飲食や自動車部品の分野で少し影響が見られたが、事業の存続や利用者の給料に影響があるような状況ではないと聞いている。国の支援制度は就労継続支援事業所の事業継続が困難になった場合に、再起に必要な費用を援助したり、障がい者の雇用の維持・促進を支援する事業などがある。（市当局）

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》

6月12日、26日開催

付託議案数：2件（議案第45号・48号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



《総務文教常任委員会》

6月12日、24日、26日開催

付託議案数：6件（議案第40号・43号・46号・47号・49号・50号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



《民生地域常任委員会》

6月24日開催

付託議案数：2件（議案第41号・42号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



全国市議会議長会から感謝状

5月27日、第96回全国市議会議長会総会において、川名善三議員が地方行政委員会委員を務められた功績に対し、全国市議会議長会より感謝状が贈られました。



議会と市民との懇話会

一般質問のある第2日、第3日の休憩中に傍聴に来られた方が、議会での一般質問や市政全般について質問することができるという試みを実施して、1年になります。当局や議員がその場で答えるスタイルに、傍聴に来られた方も馴染み始められたのか、率直な意見が多数出てきました。今回は個人的な意見もありましたが、当局がすぐに調査し、5分もしないうちに回答が返ってくる場面もありました。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。

懇話会での意見

- ・特別定額給付金の入金について
- ・災害に備えた対応について
- ・夏季の児童生徒の登下校について
- ・子どもの登下校の見守り隊について



どんなご意見でも結構です。



各議員の顔写真の下にQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

議会フロアをご案内します

議会フロアへは東エレベーターをご利用ください。(西からは入れません。)

③ 第1委員会室



④ 第2委員会室



⑤ フリールーム



② 応接室



① 正副議長室

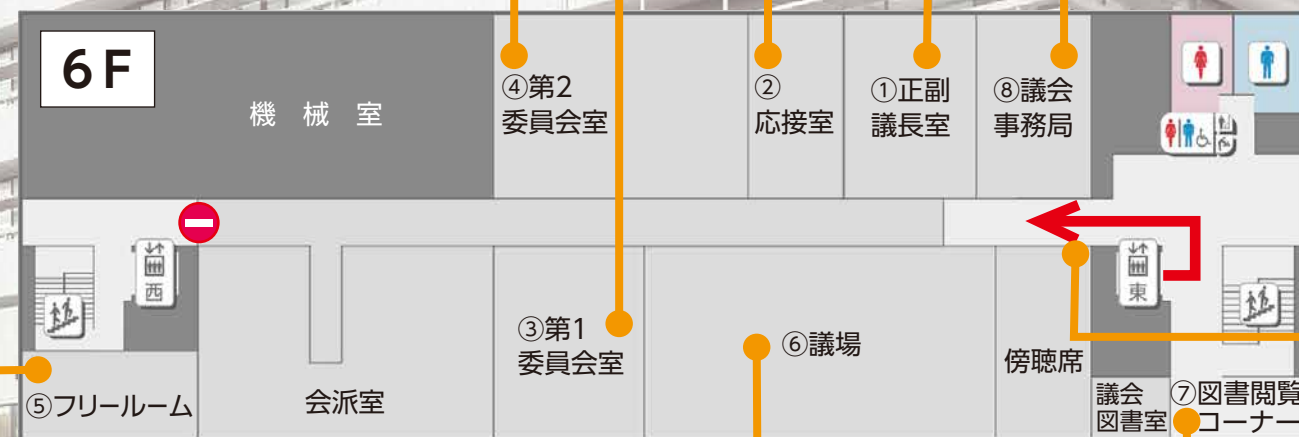


御用のある方は
事務局にお声がけください。

⑧ 議会事務局



スロープで
車椅子席へ。



定例会中の
託児コーナー
になります。

モニターに配信映像が
映ります。

⑦ 図書閲覧コーナー



小野市が一望できます。

傍聴席に車椅子席
2席が新しく設け
られています。

難聴者用磁気ループアンテナを設置しており、
対応の補聴器ではっきり聴こえます。

議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をお断りする場合がありますのでご了承ください。

☆ 9月定例会日程 ☆

8月27日(木) 午前10時～

本会議(第1日) 議案説明

9月14日(月) 午前10時～

本会議(第2日) 一般質問実施

9月15日(火) 午前10時～

本会議(第3日) 一般質問実施

9月25日(金) 午後1時30分～

本会議(第4日) 議案の採決など

★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

★9月定例会で一般質問する項目・内容については、9月中旬に市議会ホームページに掲載します。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。
希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても YouTubeで議会中継



マチイロ

アプリをダウンロードすると
スマホに広報誌が届きます!



小野市議会では、本会議を一般公開しています。
当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所6階 議会事務局までお越しください。



傍聴席から見た議場

議会と市民との懇話会

一般質問が行われる14日(月)と15日(火)の本会議休憩中に、傍聴者から質問していただく機会を設けます。

議会傍聴を終えて疑問に思われた点など、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる9月14日(月)、15日(火)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。9月4日(金)までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



議会傍聴者数

6月定例会 34名
(令和2年度累計 35名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL. 63-1006(直通) FAX. 63-4108
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

あとがき

1ヶ月半に及ぶ緊急事態宣言が出され、学校の長期休校や不要不急の外出の自粛等、私たちは未だかつて経験したことのない現実を突き付けられました。新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応は、かなり長丁場になりそうです。

コロナ禍という厳しい状況の中、今回は、「新型コロナウイルス協議会」を特集しました。市民の皆さまの安心安全な生活と地域経済を守りぬくため、また、新型コロナウイルスを終息に導き、新たな感染症に備えるため全力で取り組んで参ります。

開かれた議会を目指し、興味を持って頂ける市議会だよりをお届けできるように編集していきます。ぜひ、感想などお寄せください。

(市議会報編集委員
村本洋子)